



総務省

Ministry of Internal Affairs
and Communications

地域人材ネット

地域と連携した医学教育と地域医療再生

阿波谷 敏英 (あわたに としひで)

高知大学医学部家庭医療学講座 教授



○ 登録者情報

所在地

高知県南国市

略歴

- 平成 2年 高知県立中央病院研修医
- 平成 4年 大月町立国民健康保険大月病院内科
- 平成 5年 梶原町立松原診療所所長
- 平成 7年 梶原町立国民健康保険梶原診療所(現・梶原病院)内科
- 平成10年 梶原町立国民健康保険梶原病院院長、梶原町保健福祉支援センター所長兼任
- 平成17年 高知県・高知市病院企業団高知医療センター総合診療部
- 平成19年 高知大学医学部家庭医療学講座(寄附講座)教授、現在に至る

- 平成18年 高知県国保地域医療推進協議会会長表彰
- 平成18年 梶原町 町長表彰
- 平成19年 社団法人地域医療振興協会 研究奨励賞
- 平成21年 高知県国保地域医療推進協議会 優秀研究賞

著書・論文等

阿波谷敏英、小野剛、中村伸一、金丸吉昌 医師を志す学生たちにいま何を伝えるべきか 季刊 地域医療49(4),486-499,2012

阿波谷敏英 地域枠学生をどのように育てるのか 病院71(8),618-622,2012

阿波谷敏英 地域医療関連講座の先駆けとして.月刊地域医学24(12)、896-902,2010

阿波谷敏英 特集地域での教育【大学で教える】.月刊地域医学25(3),237-241,2011

○ 地域と連携した医学教育と地域医療再生

取組の内容

平成19年度より、高知県のへき地における家庭医の育成を目的とした寄附講座「家庭医療学講座」を開講しました。とくに中山間地域、離島などでの医療の維持には、そこで働く医療者の養成が欠かせません。単なる医師確保ではなく、地域で働く意志を持った人材の養成とともに、その医師をささえるシステムの開発に取り組んできました。地域で働く人を養成するのに大学の教室では不向きですので、高知県内の地域で学ぶ「家庭医道場」という課外実習を準備しました。実習の準備段階から学生のアイデアを入れています。学生自身が地域の人々と交流することで、地域の実情を知ることでも、一方、地域の人々には医学教育には地域という場が有意義であり、ともに育てるという実感を持ってもらうことができました。こうした取り組みの中から、地域と学生が協働で健康教室を開催したり、小中学生向けの学習塾をおこなうなど新たな取り組みも生まれてきました。

また、高知市北部(旧土佐山村)の唯一の医療機関である土佐山へき地診療所の指定管理を平成20年度よりおこなっています。公的診療所の指定管理をするのは国立大学としては先例がありませんでした。現在まで、安定した運営をおこなっており、臨床はもちろん、学生教育のフィールド、臨床疫学的研究のフィールドとして地域と大学がともにメリットのある取り組みになっています。



2012年 馬路村(集合)



2012年 馬路村(田植え体験)



健康教室



住職講演

実績

高知大学医学部家庭医療学講座 運営費/年間3,500万円(県2,500万円、市町村1,000万円)、スタッフ/教授1名、准教授1名、助教1名、事務補佐員1名

家庭医道場 年2回開催 開催場所/高知県梶原町、馬路村、宿毛市沖の島町 参加人数/1回あたり学生20~42名、スタッフ5~10名 経費/1回あたり80~110万円
家庭医道場を経験した学生が卒業し、医師、看護師・保健師として徐々に地域で定着しつつあります。

土佐山へき地診療所指定管理 スタッフ/医師1名(3人の医師が交替)、看護師2名、事務員2名、指定管理料/1年あたり6,300万円(利用料金制はとっていません)

工夫した点や苦労した点

家庭医道場でやりたいことを地域の人々に認知してもらうこと。地域の人々からは医学生との接し方がわからないとのこと意見もありましたが、回数を重ねることで理解されるようになりました。

土佐山診療所では、立ち上げの際に指定管理者制度について国立大学にその経験がなく交渉が難渋しました。へき地ですので経営的には良好とは言えませんが、安定したスタッフの確保、医療の質の担保などで貢献できていると思います。

ひとことPR

地域医療崩壊は、大学で育てた医師を派遣するというスタイルに固執することでは解決できません。地域とともに人を育てて医療再生を目指しています。

○ 参考

取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

	1 地域経営改革		7 まちなか再生
	2 地場産品発掘・ブランド化		8 若者自立支援
	3 少子化対策	○	9 安心・安全なまちづくり
	4 企業立地促進		10 環境保全
	5 定住促進		11 その他
○	6 観光振興・交流		

関連ホームページ

高知大学医学部家庭医療学講座	http://www.kochi-ms.ac.jp/~ff_famed/
そうだ！地域へ行こう！（講座ブログ）	http://famedkms.blogspot.jp/
お山の中の医学部 (土佐山診療所ブログ)	http://blogs.yahoo.co.jp/tosayamaclinic

連絡先

メールアドレス	awatani[アットマーク]kochi-u.ac.jp	その他	
---------	------------------------------	-----	--

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。

戻る